開成町立開成南小学校　学校だより

みなみの風

【発行日】
令和８年 10 月５日
【発行者】学校長

≪学校教育目標≫　自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成
学校生活における合言葉「生き生きわくわく」と「3つの『あ』」

早いもので、9月が終わろうとしています。夏休み以後、子どもたちも比較的に元気に登校できているとはいえ、秋の長雨のとおり、雨天の日が多く、子どもたちもなかなか外で遊べない状況が続いています。このようなときには、けがやトラブルが起きやすいので、より配慮していく必要があると感じている今日この頃です。

さて、今年度から本町は二期制を施行しており、10月の三連休前後で期が変わります。それに伴い、あゆみも10月9日に子どもたちに渡します。評価方法の詳細は、10 月に入ってからマチコミメールで配布しますが、子どもたちのこれまでのがんばりやすてきな言動に対する評価ですので、ぜひ肯定的に捉えていただければ幸いです。本校の教育活動に対し、今後も引き続きご支援のほどよろしくお願いします。

特別活動の活性化
～委員会活動の充実に向け～

「まっかだな～、まっかだなあ～」8時 10 分に行われる放送委員会児童による放送で流れている曲です。もちろんご存じだと思いますが、「まっかな秋」の冒頭の歌詞です。



右の写真は少しわかりにくいと思いますが、「まっかな秋」の歌詞を中央階段に掲示し、今月の歌に親しみをもってもらおうと、音楽委員会の子どもたちが作成したものになります。

本校は、とても素直な子が多いのですが、主体性や自主性という意味では、もう少し頑張ってほしいなと感じていたため、今年度の学校グランドデザインに「児童の主体性を生かした特別活動の充実」を新たに掲げました。

特別活動は、委員会活動の他にも、学校行事、クラブ活動、学級活動があり、学校はこれまでよりもより児童のアイデアを取り入れた活動になるように努めているところです。

電話録音機能が導入
～互いの対話をさらに有意義に～

開成町教育委員会と協議のうえ、学校における電話対応の適正化及び、児童・保護者の皆様、教職員双方の安全・安心を確保するため、学校の電話機に録音機能を導入することとなりました。

録音機能は、電話でのやりとりの内容を正確に確認する必要が生じた場合や、聞き間違い及び伝達漏れ等を防ぎ、円滑な学校運営につなげることを目的として使用します。

なお、録音した内容については適切に管理し、前述の目的以外には使用いたしません。

また、必要な保存期間を経過したものは、適切に消去します。保護者の方からお掛けいただいた場合はアナウンスが流れますが、学校から掛けた場合は流れない仕様になっています。いずれの場合も、電話でのお問合せやご相談の際に録音がされることについて、あらかじめご理解くださいますようお願いいたします。

運用につきましては、後期始業式が開催される令和8年10月13日(火)を開始日とさせていただきますので、ご承知おき願います。

子育てアラカルト㉑　～いじめていい理由～

児童・生徒のいじめや暴力行為については、毎年調査が行われています。学校においても日常の見取りのみならず、心のアンケート(年2回)の実施により、状況を把握するようにしています。学校という場所においては、個性が異なる集団で生活することを日常とするため、道徳教育や人権教育の充実、またいのちの大切さを伝えていても「なくなることはない」と捉えています。よって、発生率低下よりも解消率向上に主眼を置いています。しかしながら、全国的に見てもいじめ事案がなかなか減少しないのが現実です。

今回のアラカルトでは、神奈川県教育委員会が発行している「心みつめて(第8集)　みんなの個性でいろどる世界」(令和6年3月)に掲載されているある中学生の詩を紹介します。

歩くのがおそいから。 声が変だから。 うざいから。 顔が変だから。
そんな理由で　どうしてあんなに傷つかないと　いけなかったのですか。
人を傷つけるのは楽しいですか。 悲しませるのは楽しいですか。 辛い思いをさせるのは楽しいですか。
どんな気持ちでやっているのですか。 私には分かりません。 分かりたくもありません。
「いじめた側にも理由がある。」 そんなことない。 いじめていい理由なんてありますか。
簡単に人を傷つけていい理由なんて　ありますか。



児童会目標の紹介
～作成して終えることなく・・・～



上の写真は、今年度の児童会目標になります。児童代表委員会において、子どもたちが検討を重ね作成したものになります。

今年の5・6年生は、例年以上に学校のことを考え、「自分たちの学校をよりよくするために」を念頭に、いろいろなアイデアを委員会活動等で出しています。その高学年を中心に、「思いやり」「優しさ」「助け合い」が溢れて、最終的に笑顔の多い学校を目指したいという思いが伝わってきます。

今は、まずは笑顔につながる根幹ともいうべき、「あいさつ」に学校としては力を入れています。子どもたちは、習慣化するよう、意識が高まっていますので、もし元気なあいさつをする姿を見かけたときは、大いに認めてあげてほしいと思います。もちろん、教職員にも日頃から心を込めたあいさつするよう伝えてあります。まずは大人が当たり前のことを当たり前に行うことから・・・。

登下校の安全を！
～大人は真剣に考えています～

写真は、校舎北側の道路に、建物の幅と同じ位置に設置された看板です。自転車通行帯と歩行者通行帯が分けられているのですが、なかなか分かりにくくなってきたこともあり、この夏に設置していただくことになりました。

ここのところ、登下校時に大きな事故はないものの、明日に事故が起きない保証はありません。本校 PTA 安全見守りサポート委員の主導のもと、保護者の皆様にも「A2M(あいさつ・安全・見守り)の日」でご協力をいただいていることも、大事故が起きていない大きな要因であると捉えています。



運動会の練習が始まっています。1日には、全校練習の1回目が行われました。650名が一斉に学ぶというのはなかなか大変なことなのですが、5・6年生が、すてきな態度で向かい合っているその姿を見て、感動しました。さすがは、「本校の顔」となる高学年です。

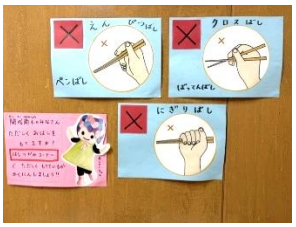
今は、体育館で表現(ダンス等)の学びが中心ですが、校長室にいると子どもたちの拍手が聞こえてきます。きっと、お互いの頑張りをたたえ合っているのでしょう。当日の見栄えも大切ですが、そこに至るまでの過程も大切にする学校でありたいと思います。

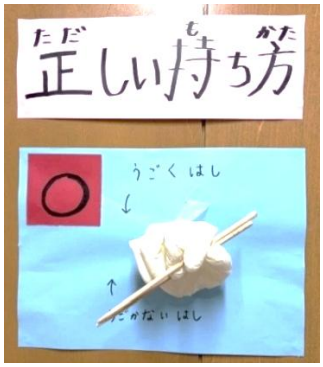
正しく持てるかな？
～箸の持ち方を見直そう

もちろん個人差があるのは承知しているところですが、本校の子どもたちは、給食を楽しみにしている子が多く、とてもたくましく感じます。残念ながら、雨が多いと外で遊ぶことが難しく、そうなるとやはり食欲も減退するようで、やはり運動と食欲は連動していると実感しています。

今、校内の調理場付近の廊下に、箸の正しい持ち方についての掲示物が用意されています。これは学校栄養技師(一般的に、栄養士)が作成したもので、非常にわかりやすく説明されています。

学校給食においては、衛生管理が高レベルで実施されており、安全を担保するために、多くの調理員さんたちが慎重に業務にあたっています。子どもたちもその思いに応えるべく、正しく箸を持って、おいしく給食をいただきたいと思います





思わず微笑むスペース
～子どもたちの図工の作品を掲示～

本校の廊下に、新たに子どもたちの頑張りを紹介するスペースが設置されました。

そもそも掲示場所がそう多くないため、職員室前となりましたが、子どもたちが図画工作科の授業で創り上げた平面作品(絵)を掲出してあります。

子どもたちのアイデアは無限であり、大人の発想を優に超えていくものにも出合うことができ、とても驚かされます。このスペースは、定期的に入れ替えがなされ、多くの作品が順番に掲示される予定になっています。ある子から、「校長先生、私の図工の絵が貼り出されたので、後で見てください！」と伝えられました。きっと、嬉しかったのでしょうね。

この掲示は、様々な配慮のうえで選出されていることをご承知いただければ幸いです。

